

- 講演は時間厳守でお願いします。
 - **講演時間には質疑応答の時間が含まれています**のでご注意ください。
- 所属とお名前が分かるように表示を編集しておいてください。
例: 光赤太郎(天連大学)
- 原則マイクはミュートでお願いします。ビデオもオフにしてください。
- 質問の時は手を上げる機能で手を挙げて、座長が指名したらマイクをオンにして発言してください。
- チャット機能も活用していただくことができます。
- 質問やご意見など書き込みができるgoogle docのページを準備しました。講演中にできなかった質問やご意見、それに対する回答など自由にお使いください。
<http://gopira.jp/sym2020/program.html>
- 記録のため、zoomの録画を行います。

2020年度光赤天連シンポジウム 「データ解析の新展開2020」

9月14日(月) 13時 - 17日(木) 17時半
(開催は午後の時間帯のみ)

世話人:

板由房(東北大学)、稲見華恵(広島大学)、大朝由美子(埼玉大学)、
住貴宏(大阪大学)、野上大作(京都大学)、深川美里(国立天文台)、
本田敏志(兵庫県立大学)、諸隈智貴(東京大学)、古澤久徳(国立天文台)
秋山正幸(東北大学)

開催趣旨

- 今年度のシンポジウムは国立天文台天文データセンターとの共催で、「データ解析の新展開2020」と題し観測データの扱いを主なテーマとし、今後生成される多種多様な観測データや、膨大なデータからの情報抽出、解析ソフトの開発や有用なツールの情報共有、多波長データとの統合、などを議論する。
- また、関連して現在推進されている各プロジェクトの現状と今後、TMTやSPICAなどを含む大型プロジェクトの状況を確認する。
- 加えて、2030年代将来計画検討ワーキンググループによる、将来計画の立案と発展の促進を目指したWhite Paperについて議論を行う。

1: データ解析の新展開 (14、15日、16日最後)

- 大規模サーベイ観測におけるデータ処理
 - データ取得とアーカイブの連携や、その維持体制について
 - 生データや解析結果の品質管理コントロール、較正について
 - 多波長データの統合とアーカイブデータの活用
- 解析ツールや機械学習を利用したデータ解析
 - 今後のサイエンスで必要となる、解析で得たい・抽出したい、情報は何か
 - 大サーベイ時代や将来計画に必要な手法、処理アルゴリズム
 - Post IRAF時代の解析環境

2:光赤外線分野における大型計画の現状と今後の提案 (16日)

- 現在推進されている各プロジェクトの現状と今後、TMTやSPICAなどを含む大型プロジェクトの状況を確認する。

3:2030年代の将来計画 (17日)

- 2030年代将来計画検討ワーキンググループ報告(white paper WPの提出状況と第一回review結果)
- JAXAのミッション再定義

光赤外天連総会 (17日17:00-17:30)

(会計報告、選挙実施結果、国立天文台プロジェクト評価、等)

いただいたご意見

- IRAFに代わる汎用データ解析ツールが何になるか、気になっています。個人的にはastropy (python) が優勢と感じており、今後はastropyが共通言語になるのではと考えています。新しく解析を始める学生に、astropyを教えている研究室は現状でどれくらいあるのでしょうか？
- 高分散分光の解析では、やはりIRAF, PyRAFの後継ソフトウェアがないものか気になっています。
- 公式なサポートがなくなったIRAF後のツールについて議論がもたれることは良いことだと思いました
- データ処理関連のことは毎年のペースで1-2日間にわたる規模の情報交換や議論の場があるのが本来であれば理想ですね。
- 一連のアーカイブに関する講演を機会に、今後のデータアーカイブのあり方について様々な意見交換ができれば良いと思っています。このような機会を設けてくださった世話人の方々に感謝いたします。
- テーマとはちょっとズれてしまいましたが、学部生の指導(卒論や学生実験のテーマ)、高校生向けの取り組みなどについてアドバイス頂けるとありがたいです。
- 地方の小規模単科大学に所属しており、天文分野の研究者も周りにいないため、今回のようにzoomでオンライン参加ができて、現在及び将来のプロジェクトの進捗・現状報告を聞ける機会などとても助かります。

- 講演は時間厳守でお願いします。
 - **講演時間には質疑応答の時間が含まれています**のでご注意ください。
- 所属とお名前が分かるように表示を編集しておいてください。
例: 光赤太郎(天連大学)
- 原則マイクはミュートでお願いします。ビデオもオフにしてください。
- 質問の時は手を上げる機能で手を挙げて、座長が指名したらマイクをオンにして発言してください。
- チャット機能も活用していただくことができます。
- 質問やご意見など書き込みができるgoogle docのページを準備しました。講演中にできなかった質問やご意見、それに対する回答など自由にお使いください。
<http://gopira.jp/sym2020/program.html>
- 記録のため、zoomの録画を行います。